

令和8年度要求額 8,875千円

### 1 事業概要

#### 【事業内容】

- 医療的ケア児等コーディネーターの養成等を目的とした下記研修の開催
- 障がい福祉サービス事業者に対する医療的ケアに関する専門的な指導・助言等

#### 【研修受講者数】

	対象者	実施回数/年	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
基礎研修	医療的ケア児等の支援に関心を持ち、理解を促進したい者	3回	123人	97人	113人	87人	138人	189人	747人
応用研修①	医療的ケア児等を受け入れている事業所の従事者（基礎研修修了者）	1回	50人	43人	39人	36人	56人	61人	285人
応用研修②	医療的ケア児の支援の中心的な役割を担う者（応用研修①修了者）	1回	39人	33人	32人	31人	46人	51人	232人
看護師研修	障がい児通所支援事業所に配置されている看護職員等	1回	-	-	7人	11人	14人	14人	46人
フォローアップ研修	医療的ケア児等コーディネーター（応用研修②修了者）	1回	-	-	-	-	-	21人	21人

(参考) 医療的ケアが必要な児童数

R4	R5	R6
294人	297人	260人

#### 【事業評価】

- 医療的ケアに対応可能な福祉サービスの充実を図るため、介護技術の向上や医療的ケア児等コーディネーターの養成を目的とした研修を実施することで、地域生活支援の基盤づくりが図られている。
- 一方で、昨年度実施した医療的ケア児等コーディネーター向けアンケート調査や検討会議の有識者の意見を踏まえ、**医療的ケア児と医療的ケア児等コーディネーターのつながりづくりや、医療的ケア児等コーディネーターの質の確保やスキルアップのための後方支援を強化する必要がある。**

医療的ケア児等コーディネーター向けアンケート調査結果（R7.2実施：回答者20人・複数回答あり）	当検討会議での意見（R7.7.5開催）
<ul style="list-style-type: none"> <li>「医療的ケア児等コーディネーターとして活動する際の課題」</li> <li>⇒ 医療的ケア児とどのようにつながっていけばよいか分からない（2名）、多職種連携が難しい（3名）</li> <li>⇒ スキルアップの場がないため、今後の活動が不安（2名）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア児と医療的ケア児コーディネーターとの最初のつながりづくりが難しい。児の状態に適したコーディネーターとのつなぎ役が必要。</li> <li>支援経験がないコーディネーターのスキルアップが必要。</li> </ul>

## 2 事業の見直しのポイント（案）

- ▶ 令和元年度より実施している基礎研修について、令和7年度中には総受講者数が900人を超える見込みであり、医療的ケア児等への支援の基礎知識の習得は一定進んでいるといえることから、**基礎研修の回数を年3回から1回に減ずる。**
- ▶ アンケート結果や検討会議での意見を踏まえ、医療的ケア児と医療的ケア児等コーディネーターとのつながりづくり、医療的ケア児等コーディネーターや関係機関との連絡調整、医療的ケア児等コーディネーターからの相談対応等を行う、**医療的ケア児等コーディネーターの後方支援業務を新たに委託する。**

